



2011年7月9日（土）

## 第12回 異業種ディスカッション大会

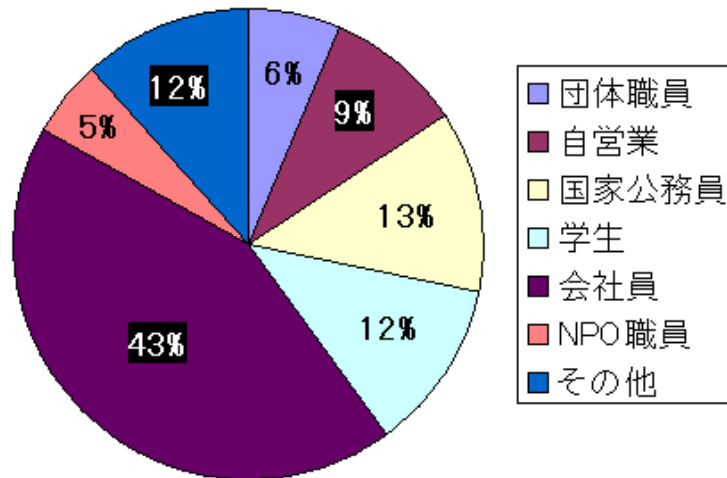
貧困削減と持続可能な成長に向けて

～日本と、フツ～の日本人が出来ること～

# 参加者アンケート結果

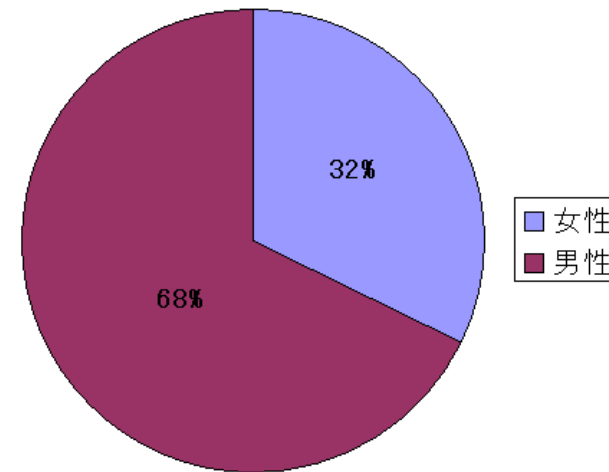
# 参加者（99名）の属性

## 【職業】

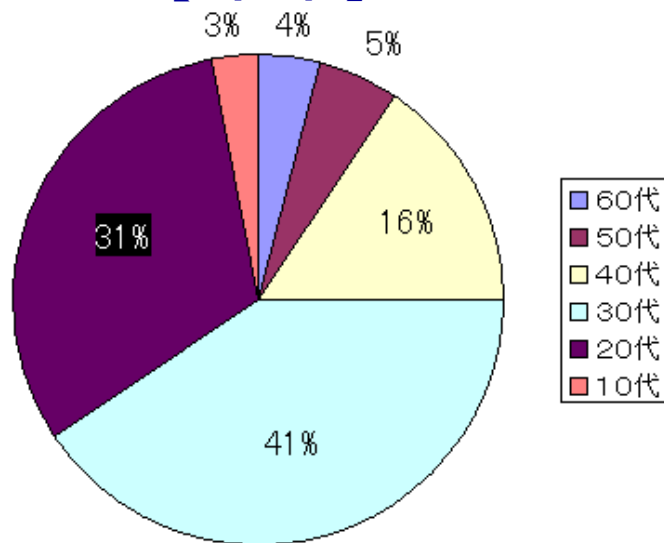


※ その他：医師、会計士、弁護士、地方公務員、議員秘書

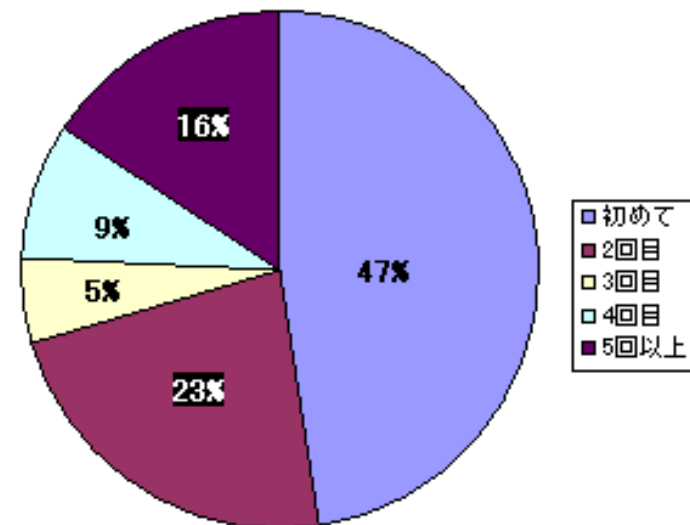
## 【性別】



## 【年齢】



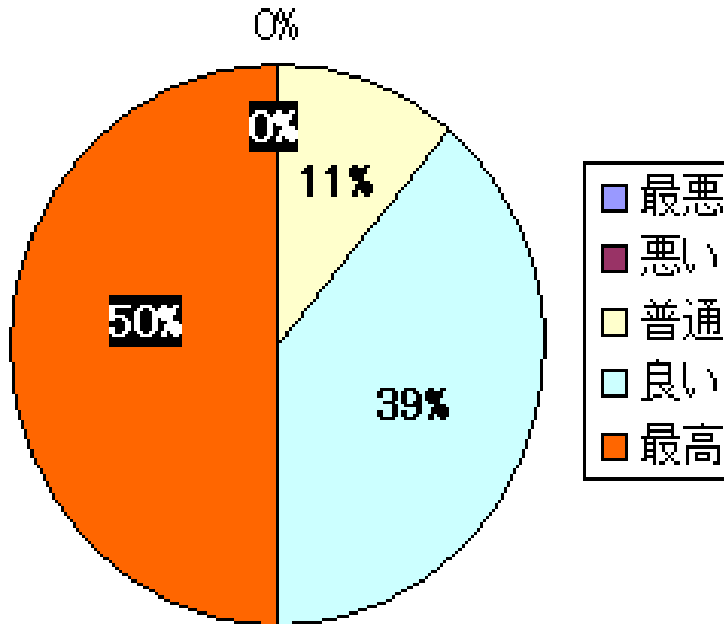
## 【参加回数】



## スタッフからのプレゼンテーションについて

本年夏より世界銀行の職員として Bangladesh に赴任予定の池田洋一郎より、「Global Issueの解決に向けて～日本人が世界と「つながり」を見出し、協働していくには？～」とのタイトルで約50分間のプレゼンテーション、及び約20分の質疑応答を行いました。参加者からのコメントとアンケートの結果は以下の通りです。

(アンケート結果)



(アンケートにおける主なコメント)

・知らない Bangladesh の状況を知ることが出来、有意義だった。パッションに共感できるものがあり、自分のできることを考え直すべきだと思った。

・池田氏のアツさが存分に伝わり感動した。私も欧米以外の国とコミットしていきたいと考えているため、参考にしたい。「国際人」としてのコミットと「日本人」としてのコミットの違い等をご紹介頂ければもっと良かったかと感じた。

・池田氏の熱っぽく早口な語り口と物凄いエネルギーを感じた。この世界を良くしたいという真っ直ぐで純粋な気持ちをモチベーションとして、どうすれば良いかを考え続け、実行されている、という印象を受け、見習いたいと思った。

・Bangladesh に行きたくなった。

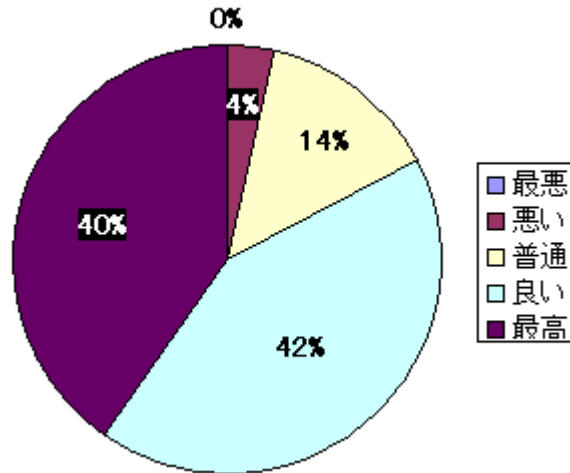
・これから挑戦されるというストーリーもあって迫力ある印象的なプレゼンだった。Bangladesh、頑張ってください。

(会場で出された主な質問)

- 先進国が歩んできた経済成長至上主義の過ちを Bangladesh 等の途上国が避けるために何が必要か？
- 保健・医療の分野で世界銀行は Bangladesh でどのような取り組みをしているのか？
- 汚職防止のために何が必要か？
- 何故タイは着実に経済成長を実現しているのに、Bangladesh は最貧国に留まっているのか？

## グループ・ディスカッション、プレゼンテーションの感想

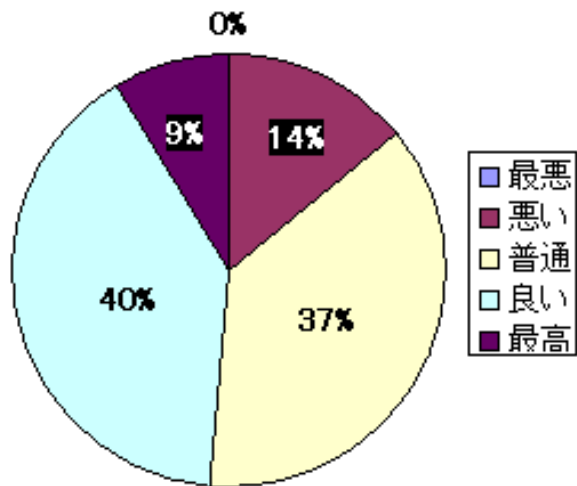
### 【グループ・ディスカッションについて】



#### (主なコメント)

- 様々なバックグラウンドの人々と意見交換が出来てよかった。違う視点からのディスカッションの重要性を改めて感じた。
- Global Issueと余り関連性が見られなかった。国内問題に終始した。
- 多様な考え方を出し合った。最終的に、コンセンサス形成はできずとも、もう少し絞込みと深めるプロセスが欲しかった。
- 議論の方向性が定まらず。何を話して良いか、戸惑った。いろいろな人の考えが聞けた部分は良かった。

### 【グループ・プレゼンテーションについて】



#### (主なコメント)

- 短時間に様々な視点を聞いた。
- 若い方々の堂々とした発表振りに感心した。
- 「テーマ」とプレゼンの内容にギャップのあるところが幾つかあった。
- 模造紙での発表だと、細かいところが良く見えないので残念。各グループ1台ノートPCを用意して、PPTのプレゼンでも良いのでは？
- 個々のテーマについて、他のチームメンバー全体でディスカッションをする時間が少し足りない。
- グループディスカッションだけでも良いのではないかと、思った。浅い話を広く聞くよりも、一つのテーマで深く議論する時間がもっと欲しい。

## 全体的な感想

- ・「本業を頑張らないといけない」と思いで休日に本業に関する知識を高める勉強するのもいいが、こういう「異業種間の議論の場」にも参加しないと、視野が狭くなると感じた。
- ・ excitingでした。私のような18歳も受け入れてくださって感謝しています。
- ・ 心の錆おとしになりました。責任あるお忙しい仕事をお持ちのスタッフの皆さんが、プライベートの時間を割いてクロスオーバーを続けていることに、経緯と感謝を申し上げます。
- ・ 色々勉強になったと共に、どういうアクションを起こすかについて考える(再認識する)機会になった。
- ・ 初めて参加したが、とても有意義に過ごせて刺激を沢山もらった。日々生活する中で、しっかり考えて自分なりに行動していきたいと改めて思った。
- ・ 若い人(大学生)がしっかりしていて驚いた。考えて実行に移さないと世界は変わっていかないが、クロスオーバーでの“ひらめき”を実際のビジネスにしている人もいると聞き、心強く思った。

## Crossover21への今後の期待

- ・ 選挙・政治について、日本の国際的な地位について、イノベーションの起こし方について、議論したい。
- ・ ディスカッション以上に、参加者がどういう人生を歩んできたのかをお聞きしたい。
- ・ 若者に対し、crossoverに参加しているような大人の方に自分達のお仕事を語ってもらうイベント
- ・ 100人近くが集う大規模な「ディスカッション大会」だけでなく、ニッチなテーマ、少人数イベントも企画してはどうか。
- ・ 役所の方がメンバーに多いので、少し会が堅いような感じがする。例えば、ファッション業界の方なども入ってもらえば、より面白いのではないか。
- ・ あらかじめ参加者をテーマ別に分類し、具体化を掘り下げるのが良いと思います。一人一人の参加者に負担をかけて良いのではないか。